



開拓への熱い想い

森を自然の遊び場に!

号外!!

愛知県みんな!

はぐみんビ大作戦 開始!



**家族で楽しめる
木工工作教室**

岡崎市榎山町にある「森の総合駅」。豊かな森に囲まれたこの施設で「木工工作教室」が行われ、たくさん親子がクリスマスリースづくりを楽しんだ。主催するフタバ産業は、2011年に「生物多様性保全の取り組み」として森づくり活動を開始。岡崎市から市有林を借用し、幼児でも安心して遊ぶことができる安全で明るい広場づくりを目指している。その活動の一環として行っているのが、子どもたちが楽しく参加できる夏の「カブトムシ捕り」、そして冬の「木工工作教室」だ。「スタッフは社員を中心にボランティアで参加しています。森づくり活動にもっと多くの方に関心をもってもらいたければと始めたのが、家族みんなが楽しめるイベントです」と総務部の三石さん。クリスマス用の松ぼっくりは、スタッフが拾い集め、虫干ししてから色をつけた手作り品飾りのリボン、見栄え良く形を整えたものを女性スタッフが準備した。幼児から小学校低学年の子どもたちも楽しめるようにと、刃物は使わずに短時間で完成できる工夫がされている。



有志社員によるスタッフが森の整備を行ったことにより、豊着としていた森が明るくなったと付近を散策で訪れる人々にも評判だ。森が豊か、生物が生育しやすくなる。最近では野鳥の姿も見られるようになった。「最近の子どもたちは自然とかわる機会が少なくなっています。こどもたちは自然とかわる機会が少なくなっています。こどもたちは自然とかわる機会が少なくなっています。」

**自然と触れ合い
やさしい心を育む**

「森に入ることに慣れて、様々な生き物がいることに気づき、興味を持ってほしい。生物に対する慈愛の心ややさしさを育みたい」。達成感でスタッフのやる気もどんどん増し、技術もだんだん向上してきた。手作りの遊具をおきたい「もっと開拓したい」想いは、スタッフには同社の〇日も参加。豊かな経験と技能で活動を引っ張っている。地域の活動体とも協力し、子どもたちが遊びながら学ぶことができる機会を、今後提供予定だ。「子どもたちの笑顔を見ると、やっていてよかったなと、うれしく思います」と三石さん。参加の輪が広がることを期待している。



「最近の子どもたちは自然とかわる機会が少なくなっています。こどもたちは自然とかわる機会が少なくなっています。」

毎月19日は **子育て応援の日** はぐみんデー

11月は、はぐみんデー 普及推進強化月間